

2021年4月1日

デンカ株式会社

## 2021年度新入社員 社長祝辞

社長の今井です。2021年度新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。まずは本日デンカに入社して頂いた皆さんに心から感謝したいと思います。社長の今井ですと挨拶させていただきましたが、社長には今日なったばかりです。その意味では、本日デンカの社員としての歩みを始めた皆さんと同じです。よろしくお願いいたします。

さて、本日入社された皆さんは昨年に続き、人類の歴史に必ず残る大変な時期に入社されました。世界中を襲った新型コロナウイルスは多くの方々の命を奪うとともに、対面でのコミュニケーションを阻害させるという、私たちの生活における根源的な変化を強いました。本日入社の皆さんも学生生活の貴重な最後の一年を、極めて制約された社会の中で過ごさざるを得なかったことの残念さは、いかばかりであったかと思います。

コロナ禍は更に世界に様々な影響を与えました。近年頻発する自然災害により、気候変動に対する意識は強まりつつありましたが、コロナ禍のなかで更に加速し、日本も2050年でのカーボンニュートラルを宣言するに至りました。また、コロナ禍は世界の格差をさらに拡大させ、資本主義の限界が指摘されるようになりました。そして新型コロナの発生源と推定されながらも、コロナ禍からいち早く抜け出したかに見える中国との地政学的問題も深刻化してきています。この様に全世界の動きが早送りされたような状況の中で、私たちはリモートワーク、在宅勤務、時差勤務等の新しい働き方を実践することとなり、そのなかで仕事の根源的な意味と向き合うことにもなりました。

皆さんはこれから誰も経験したことのない、ポストコロナという新しい時代のなかで、社会人としてのスタートを切ることになります。皆さんはポストコロナを、ニューノーマルではなく最初からノーマルな環境として働くことになります。その意味では新しい環境に戸惑う先輩を導く存在にもなり得るものとして大いに期待する次第です。

当社は2017年にDenka Value-Up計画を掲げ、外部環境に左右されない高付加価値事業の集合体である”Specialty-Fusion Company”への変貌を目指してきました。その甲斐あって、重点分野であるヘルスケア、環境・エネルギー事業の進展により、昨年度はコロナ禍の影響を跳ね返し前年度を上回るレベルの利益を実現できる見込みです。本日入社される皆さんとともに、Denka Value-Up計画の残りの2年間でこの計画を仕上げ、さらにその後のデンカのあるべき姿を描いていきたいと思っています。

本日、私が皆さんにお願いしたいのは、「相手の立場になって考えることが出来る人になってほしい」ということです。相手の立場になって考えることが出来れば、お客様のニーズを正確にとらえることができます。それ以上に、皆が相手の立場になって考える事のできる職場での安心感は仕事の生産性に大きく影響を与えると考えられるからです。

私はデンカで仕事をする皆さんに、常に「希望と挑戦」を与え続けることができるような経営を目指したいと思います。そしてデンカで仕事をすることによって、社会人としても、人間としても成長できるような会社にしていきたいのです。

私たちが「一番上手にできる高付加価値な仕事」に集中することにより、社会的な課題に敢然と立ち向かい、本日入社された皆さんとともにデンカを、「世界にとって掛け替えのない会社」としていきたいと思いますので宜しくお願いします。

以上で本日入社された皆さんへの祝辞とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

デンカ株式会社  
代表取締役社長  
今井 俊夫